

## 第3回創甲斐教育推進大綱策定会議 会議録

1 日 時 令和6年8月27日(火) 午後2時～

2 場 所 甲斐市役所竜王庁舎新館2階防災対策室

3 開 会 午後2時

4 出席者(敬称略)

【自治会連合会役員代表】

自治会連合会会長 穴水 剛  
自治会連合会副会長 高橋 博次

【社会教育委員代表】

社会教育委員の会議委員長 小宮山 謙二  
社会教育委員の会議副委員長 長田 明美

【民生委員・児童委員代表】

民生委員児童委員協議会長 中村 直明  
民生委員児童委員協議会 中込 幹也

【スポーツ推進委員代表】

スポーツ推進委員協議会会長 金丸 良雄

【青少年育成関係団体代表】

青少年育成甲斐市民会議会長 石橋 浩二  
青少年育成甲斐市民会議運営委員 齊藤 さや香

【学校長代表】

甲斐市校長会会長(竜王東小学校校長) 丹沢 貴浩  
甲斐市校長会副会長(敷島南小学校校長) 五味 正年  
甲斐市校長会会員(双葉中学校校長) 興石 信

【市PTA連絡協議会代表】

甲斐市PTA連絡協議会会長(竜王南小学校PTA会長) 清水 静香  
甲斐市PTA連絡協議会副会長(竜王小学校PTA会長) 大木 早百合  
甲斐市PTA連絡協議会副会長(双葉中学校PTA会長) 保坂 得孝

【見識を有する者】

スポーツ協会会長 千野 文雄  
図書館協議会会長 小尾 平明  
山梨大学教授 日永 龍彦

○欠席者

自治会連合会副会長	橋本 浩明
甲斐市校長会副会長（玉幡中学校校長）	立川 武

【教育委員会関係職員】

教育部長	名取 藤吾
学校教育課長	樋川 和之
生涯学習文化課長	大柴 宏之
スポーツ振興課長	広瀬 修
図書館総務係長	市岡 香菜子
学校教育課指導監	小野 貴博

【事務局】

教育総務課長	小田切 英規
教育総務係長	早川 要子
教育総務係員	清水 亜香梨
教育総務係員	内田 優

【委託業者】

公益財団法人 山梨総合研究所	
主任研究員	山本 陽介
主任研究員	渡辺 たま緒

【会議次第】

1. 開会

（事務局）

初めにお互いに挨拶を交わしたいと思います。（相互に礼）

本日は公私ともにお忙しい中ご出席いただきまして誠にありがとうございます。

只今から第3回創甲斐教育推進大綱策定会議を開催させていただきます。本日の会議につきましては橋本委員、立川委員から所用により欠席する旨の連絡をいただいておりますので報告いたします。教育部長につきましては、所用がございまして遅れての参加となります。よろしく申し上げます。

また、この会議につきましては公開にて行います。

なお、本日は、教育委員のお二人の方が傍聴に見えています。

前回の会議録については大きな変更、修正等はございませんでしたので、市のホームページで公開させていただきます。

それでは、お手元の次第により説明させていただきます。

本日の議題は、その他を含め3件ございます。

まず、(1) 市民アンケート調査結果につきましては、委員の皆様には事前に速報版と骨子案と一緒に送付させていただいておりますが、本日は、自由記載等についてまとめましたので、その内容について説明させていただきます。

次に、(2) 第3次創甲斐教育推進大綱施策の骨子案についてです。本日は、施策の体系についてご審議いただきたいと思っております。

次に、(3) その他となりますので、よろしくお願いいたします。

それでは、「2 議事」に入りたいと思っております。議事進行につきましては、日永会長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

## 2. 議事

### (1)市民アンケート調査結果について

(会長)

皆さんこんにちは。

前は活発なご議論をいただきましてありがとうございました。今回も熟議形式で色々ご意見をいただきますが、前回と少し違ったものになると思っております。

今ご紹介があったように、委員20人中18人のご出席をいただいておりますので、甲斐市創甲斐教育推進大綱策定会議設置条例第6条第2項の規定により、策定会議は成立していることをまず確認させていただきたいと思っております。また、教育委員のお二人については、大変お忙しい中、おいでいただきましてありがとうございます、ぜひ、議論の様子をご覧になっていただきたいと思っております。

では、議事に入る前に今日は何をやるのかについて、少しお話をしておきたいのですが、先ほどありましたように2つの議題があります。「アンケートの結果」については、市民アンケート、小中学生のアンケートの結果、概要はすでにご覧になっていただいていると思っておりますが、自由記述の傾向についてこの後ご説明をいただきます。

それと「第3次創甲斐教育推進大綱施策の骨子案について」、こちらも骨子案は事前に見てきていただいていると思っておりますが、かなり多数の施策の内容が打ち出してあります。皆さんから、文言の修正や、こんな施策も必要ではないかというご意見をいただきたいのと、最後に、今日の一番の目的、「あなたの推しの施策内容は」ということで投票を実施したいと思います。というのも、たくさん施策が並んでいますが、どこが重点施策や優先的に取り組むべきものなのかが分かりにくい。取り組む必要性があるといえれば全ての施策がそうなのですが、特にこの会議として、ここを重点的に取り組んでもらいたいという部分を決めたいと思っております。市民アンケートの意見、子どもたちの意見、それから皆さんの意見を踏まえて、重点施策を選ぶことができないかという試みの会をやろうと思っておりますので、そのつもりでご参加いただくとありがたいと思っております。

そのうえで、まず議事（１）から進めてまいりたいと思います。

まず、アンケートの調査結果についてということで、概要はご覧になっているかと思いますが、事務局から説明をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

（事務局）

それでは、（１）市民アンケート調査結果について説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

まず、アンケート調査につきましては多くの回答をいただくことができました。委員の皆様におかれましても周りの方々への周知などご協力をいただき、誠にありがとうございました。

それでは、本日配付いたしました「甲斐市創甲斐教育推進大綱策定にかかるアンケート調査結果」の１ページをご覧ください。こちらには、今回のアンケート調査の概要をお示ししてあります。調査の目的ですが、第３次創甲斐教育推進大綱の策定にあたり、計画の基礎資料とするため「学校教育」、「生涯学習」、「運動・スポーツ」、「図書館利用」、「家庭・地域・学校の連携」について、市民及び小中学生を対象にアンケート調査を実施いたしました。

調査時期は、令和６年７月１日から２８日までの約１か月間で実施しました。

調査対象は、市民アンケートについては、全市民。小学生アンケートについては、市内全小学校の５・６年生。中学生アンケートについては、市内全中学校の１・２・３年生を対象としました。

調査方法は、市民アンケートについては、logo フォームによる web アンケートを実施しました。なお、市の公式 LINE 及び市 web サイトにて周知を行いました。

小中学生アンケートにつきましては、児童生徒に配付されたタブレット端末を用いた web アンケートを行いました。

回収結果についてですが、有効回答数がそれぞれ、市民アンケートが 1,938 件、小学生アンケートが 1,124 件、中学生アンケートが 1,496 件となりました。

２ページからは市民アンケートの結果となっておりますが、委員の皆様事前に送付いたしましたアンケート調査結果の速報版と同じ内容となっておりますので、簡単に説明させていただきます。

まず、市民アンケートの性別についてですが、女性の回答率が圧倒的に多い結果となりました。年齢については、30代から50代の回答が8割以上を占めております。

続いて３ページをお願いします。居住地区については、竜王地区が約半数を占めており、敷島地区・双葉地区がそれぞれ約 25% ずつとなっております。

未成年の子どもの有無については、いると回答した人が約 7 割となりました。

４ページに移りまして、未成年の子どもの人数については、ご覧の結果となっております。未成年の子どもの年代については、小学生が最も多く、次いで中学生、未就学児、16歳から18歳となっております。

5 ページをお願いします。世帯構成については、「二世帯が同居」と回答した人が約7割となりました。職業については、「勤め人」と回答した人が、正規雇用およびパート・アルバイト合わせると7割以上となる結果となっております。

6 ページ以降については、「その他」と回答した人の自由回答部分を中心にご説明いたします。

まず、6 ページの問7「学校教育について、市が特に力を入れるべきだと思うこと」のその他意見については、7 ページのとおりとなっております。様々な意見が寄せられましたが、金融、資産運用、投資、税金についてなど、お金に関する教育に力を入れてほしいという意見がよくみられました。

続いて、9 ページをお願いします。生涯学習についての質問で、問9「これから学習するとした場合、どのようなことを学習したいか」のその他意見については、10 ページのとおりとなっておりますが、こちらでもお金や資産運用に関する意見がよくみられました。

11 ページをお願いします。問10「今後、市の文化芸術の振興に大切だと思うこと」のその他意見については、時代にあった方法を検討してほしいといった意見が何件かみられました。

続いて12 ページをお願いします。問12「運動やスポーツに取り組むための条件」のその他意見については、13 ページのとおりとなっております。「仕事や家事、育児で運動の時間が取れない」、「子どもと一緒に参加したい」、「託児をしてほしい」など子育て世代からの意見が多くみられました。

続いて、少しページが飛びますが、21 ページをお願いします。問16-3「市立図書館を利用しない理由」のその他意見については、「図書館に行く時間がない」との回答が多くみられました。また、「子どもが迷惑をかけてしまいそうで心配」といった声もありました。「利用の仕方がわからない」、「場所を知らない」というような意見もみられました。

続いて23 ページをお願いします。問17「今後の図書館の運営について、市が力を入れるべきだと思うこと」のその他意見については、多くの意見が寄せられましたが、「学習スペースなど勉強できる場所の充実」や「電子書籍の導入」といった意見がみられました。

続いて26 ページをお願いします。問18-3「学校と家庭や地域社会が協力体制を推進するために必要だと思うこと」についてのその他意見では、「必要性を感じない」との意見をはじめ、学校・家庭・地域それぞれの負担となるのではないかという意見も多くみられました。

続いて29 ページをご覧ください。問20の「自由意見」については、記載が膨大となることから、テキストマイニング及びワードクラウドによる共起ネットワークによる分析を行いました。まず、テキストマイニングとは、文章を対象にデータを解析する手法であり、文章を言語上、意味のある最小単位、単語といった方がわかりやすいかと思

ますが、それらで区切ることで、出現頻度、語句の相関関係などの傾向やパターンなど、有用な知見を抽出するものです。また、共起ネットワークとは、単語同士の関連性や出現パターンの類似性を踏まえて、文章中の単語のつながりを可視化したものです。

これらの説明を踏まえまして、市民アンケートの自由意見について 30 ページをご覧ください。テキストマイニングによる分析の結果、出現頻度の高い単語ほど、大きな文字になっております。一番多かったのが「学校教育」という単語で、学校教育の重要性を指摘する意見や、学校教育に対する要望・提案などの意見が多くみられました。

また、「学童」という単語から、学童保育の内容、質、利便性等に関する意見・要望などがみられました。

次に、「図書館」という単語から、図書館の重要性を指摘する意見や、図書館の立地、施設、利用方法などに関する意見・要望がみられました。

次に、「地域」という単語から、学校・家庭・地域の連携について、地域住民・地域活動・地域ボランティアなど様々な観点からの意見・要望がみられました。

そして、「施設・パーク」という単語から、Kai・遊・パークや図書館、公園や運動施設など、各種施設に関する意見・要望がみられました。

続きまして、31 ページをお願いします。こちらは、共起ネットワークによる単語のつながりを分析したものになります。

まず、青色の群で「学校」、「子ども」、「思う」、「教育」といったワードに繋がりがみられました。学校教育に関する記述が多くあったためと考えられ、「子ども目線で、子どもに必要な教育を考えるべきである」といった意見がみられたため、「必要」、「考える」、「よい」といったワードが関連してきていると想定されます。

紫色の群ですが、「地域」というワードには、「参加」、「できる」といったワードと繋がりがみられました。PTA や地域ボランティアなど様々な活動に関する意見が多くあったためと考えられ、「参加したい」という意見があった一方、「負担が大きく、なんとかしてほしい」といった声もあり、様々な意見がみられました。

次に黄色の群ですが、「活動」、「小学校」、「多い」などのワードにも繋がりがみられました。これらの地域活動も含め、様々な活動へのコメントがあったためと考えられ、大人や高齢者が小学校の活動にどう関係していくかについての意見などもみられました。

オレンジ色の群ですが、「行く」というワードには「先生」、「場所」、「利用」、「公園」といったワードと繋がりがみられました。各種施設の利用や子どもの居場所に関する意見が多くあったためと考えられ、施設や公園の利用だけでなく、通学や放課後の子どもの居場所などについて、様々な意見がみられました。

続きまして、32 ページからは小学生アンケートの結果、38 ページからは中学生アンケートの結果となっておりますが、こちらも市民アンケートと同様、事前に送付いたしましたアンケート調査結果の速報版と同じ内容となっておりますので、それぞれ自由記載の部分について、ご説明させていただきます。

まず、35 ページをお願いします。問6「あなたが学校に望むこと、期待することは何ですか」で選んだ理由を、次の問7で回答してもらっています。資料には「別紙のとおり」とありますが、記載が膨大となることから、今回は資料の添付はしておりません。回答率の高かった3つの項目の選択理由についてご紹介いたします。

まず、「勉強がよくわかる授業や自分の学力に合わせた授業が行われること」を選んだ理由としては、「わかりやすい授業の方が覚えやすいから・楽しいから」、「自分に合った授業であれば集中できるから」といった意見が多くみられました。

次に、「タブレットやパソコンを使った授業が充実すること」では、「わからないことをすぐに調べることができるから」、「使い方を学ぶことで将来仕事をする上でも役立つと思うから」といった意見が多く、「荷物が減ってランドセルが軽くなる」といった意見もみられました。

また、「体力づくりや健康な体づくりに関する授業・活動が充実すること」、こちらを選んだ理由としては、「体を動かすことが好きだから」、「体力をつけることで健康な体となるから」といった意見が多くみられました。

続きまして、36 ページをお願いします。小学生アンケートの自由意見となります。市民アンケートと同様の手法により、分析を行いました。テキストマイニングによる分析の結果は、ご覧のとおりとなります。

「増やす」、「全校」、「交流」、「学年」、「深める」という単語からは、学年を超えて、全校的にみんなで触れ合い交流することができるようにしてほしいとの意見が多くみられました。

「増やす」、「中休み」、「休み時間」といった単語からは、中休みや休憩時間を増やしてほしいとの意見が多くみられました。

「あいさつ」という単語も多く見られ、笑顔でしっかりあいさつをすることが大事であるとの意見が多くみられました。

続いて37 ページをお願いします。こちらは共起ネットワークによる分析結果となります。

オレンジ色の群で、「増やす」、「授業」、「学年」といったワードに繋がりがみられ、先述の、学年を超えた全校的な交流を求める意見が多くあったためと考えられます。

水色の群で、「全校」、「ルール」、「守る」などのワードで繋がりがみられました。廊下を走らない、悪口を言わないなどルールやマナーを守るべきであるとの意見が多くあったためと考えられます。

紫色の群で、「人」、「関係」、「クラス」などのワードにも繋がりがみられました。あいさつに代表されるように、みんなで明るく楽しく過ごしたいといった意見が多くあったためと考えられます。

黄色の群では、「作る」、「休み」、「遊ぶ」などのワードにも繋がりがみられました。休み時間を増やしてほしい、遊ぶ時間がほしいといった意見が多くあったためと考えられます。

続きまして、40 ページをお願いします。中学生アンケートになりますが、こちらも問6「あなたが学校に望むこと、期待することは何ですか」で選んだ理由を問7で回答してもらっております。こちらについても記載が膨大となることから、別紙資料は添付しておりませんので、回答率の高かった3つの項目についての選択理由についてご紹介いたします。

まず、「勉強がよくわかる授業や自分の学力に合わせた授業が行われること」、こちらを選んだ理由としては、「自分の学力に合った学習によりしっかり理解したいから」、「学力の向上が期待できるから」といった意見が多くみられました。

次に、「楽しい授業をしてくれる先生や温かく寄り添ってくれる先生がいること」を選んだ理由として、「そのような先生がいることで安心して学校生活を送ることができるから」、「楽しい授業をしてくれることで勉強が好きになるから」といった意見が多くみられました。

また、「スポーツなどの部活動に関する機会や時間が充実すること」こちらを選んだ理由としては、「運動やスポーツが好きだから」、「運動能力が向上するから」、「大会などの目標に向かって頑張りたい」といった意見が多くみられました。

続きまして、41 ページをお願いします。中学生アンケートの自由意見となります。こちらも市民アンケートや小学生アンケートと同様の手法により、分析を行いました。テキストマイニングによる分析の結果は、ご覧のとおりとなります。

まず、「増やす」、「全校」、「交流」、「レク」ですが、小学生同様、学年を超えて全校的にみんなで交流することができるようにしてほしいとの意見が多くみられました。レク形式を提案する意見もありました。

次に、「校則」、「なくす」といった単語から、理不尽、意味がないと思える校則の廃止・見直し・改善を求める意見が多くみられました。

次に「一人ひとり」、「生徒」といった単語から、生徒一人ひとりがよく考えて行動すべき、先生も生徒一人ひとりの話をきくべきとの意見が多くみられました。

また、小学生と同様に「あいさつ」という単語も多く見られ、中学生アンケートにおいても、あいさつをすることが大事であるとの意見が多くみられました。

42 ページは、共起ネットワークによる分析結果となります。

まず、青色の群で、「増やす」、「全校」、「クラス」、「機会」といったワードに繋がりがみられました。また、ピンクの群で、「交流」、「学年」、「楽しい」といったワードに繋がりがみられました。先述の、学年を超えた全校的な交流を求める意見が多くあったためと考えられます。また、「関わる」、「深める」、「考える」といったワードも関連がみられ、生徒が自ら考え、行動しようという意思をもった回答が多かったことがわかりました。

オレンジ色の群ですが、「生徒」、「イベント」、「作る」などのワードで繋がりがみられました。交流ができるイベントを作りたい、あったらいいといった意見が多くあったためと考えられます。

以上、アンケート調査結果の説明となります。よろしくお願いいたします。

(会長)

ありがとうございました。単純集計の部分については、事前にご覧いただいていたと思いますが、今日は特に自由記述についてご解説いただきました。単純集計のところを含めて、委員の皆様には何かご質問等ございましたら、ぜひ挙手をお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。今日は、自由記述のところについてポイントを当ててご説明いただきましたが、自由記述は具体的に書いてあるので、つい、そんなところが重要なのかと思われるかもしれませんが、件数と合わせて見ていただきたいです。千件以上あるアンケートの中で、何人の方がそれを言っているのか、大多数の意見なのか、それとも、ごく少数の意見なのかということをご考慮しながらご覧いただければと思います。

テキストマイニングについては、全体の意見を把握したうえで、おそらくこういう言葉の繋がりがあれば、多分こういうところから出てきているのだろうという解釈の部分をご説明いただいたということだと思います。ですので、これは少数の人が言っていたというような話ではなくて、今回、回答者は保護者の方、特に女性の方が多かったわけですが、そういう方々がどんなことを言っているのか、望んでいるのかということがある程度見えてくるかもしれないなと思います。参考までにお伝えしました。

何か意見・質問があれば、いただきたいと思いますが、よろしいですか。はい。ありがとうございました。

それでは、(1)の市民アンケートの調査結果については、ご報告をさせていただいたということで、次にまいりたいと思います。

次に、「議事の2、第3次創甲斐教育推進大綱施策の骨子案について」ということで、まずは骨子案の概略について事務局からご説明いただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

## (2)第3次創甲斐教育推進大綱施策の骨子案について

(事務局)

それでは、第3次創甲斐教育推進大綱施策の骨子案について、事務局から説明をさせていただきますので、事前にお配りした骨子案をお手元にご用意願います。では、説明は着座にて失礼いたします。

第2回までの策定会議においてご審議いただいた中で、大綱の基本理念や基本目標については、方向性を固めさせていただき、次に先ほどご説明した市民アンケートの調査結果などを参考に、また、教育振興基本計画は国及び県の計画も参酌しながら策定するというものですので、そちらを参酌する中で、骨子案を作成いたしました。

まず、冒頭にご説明したいのは、骨子案を作成したプロセス、経過についてですが、この市役所内、庁内におきまして本計画を検討するためのプロジェクトチームを設置し

ております。この設置の根拠は、策定会議と同じ創甲斐教育推進大綱策定会議設置条例によるものです。このプロジェクトチームは、計画策定に必要な基本的事項を調査研究するとともに、事業の推進体制の整備を図るため、関係部署の職員等で構成する組織となっておりまして、委員長は、教育部長の名取部長が務めております。庁内で13課の関係課の所属長と、現場の状況について意見を聴く必要もあることから、学校及び保育園関係の代表として、教頭先生や保育園の園長先生の代表もメンバーとなっていただきまして、合計20人のプロジェクトチームを通して、骨子案の検討を行ったところです。

具体的な流れは、7月から8月にかけて、プロジェクトメンバーの所属ごとにヒアリングシートの作成を依頼し、第2次の計画の取組状況や課題の洗い出しを行いました。

また、それぞれの課において、国や県の計画も参考にしながら、本市が第3次において目指す姿やどんな施策を展開していくのかといった方向性の確認などを行いました。その中から、特に調整や確認が必要な所属につきましては、課長や係長を対象にヒアリングを実施して、細かい施策の方向性などを確認しながら、作成を進めてきました。

この骨子案につきましては、市民アンケートの速報版とともに事前にお送りをさせていただきましたので、ちょっと厚い本でしたが、あらかじめ目を通していただいていると思いますので、本日は、11ページの第4章以降が第3次の計画に直接関わる場所となりますので、その説明をさせていただきたいと思います。10ページまでの「はじめに」から「第3章」までは、骨子案の段階で、数字の精査や表現については、また次回計画案をお示しするまでには修正や変更をするところもあるかと思っておりますので、あらかじめご承知おき願いたいと思います。

それでは、11ページをお開きください。こちら第4章の「本市教育の目指すべき方向」ですが、基本理念につきましては、前回の会議でお示した通り、第2次における基本理念「甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり」を継承いたします。次に基本目標・基本方針に続きますが、基本的なところは第2次を引き継ぐ中で、例えば、14ページの基本方針9「教育分野におけるDXの推進とデジタル社会を担う人材の育成」など、こういった新しい取り組みも進めていきたいと考えております。

次に15ページをお開きください。こちらは、施策の体系となり、先ほどご説明したプロセスを経て、施策の内容などをまとめました。こちらの施策の体系につきましては、前回までもその時点の案をお示ししておりましたが、そこから大きく変更になったところが2つございます。まず、基本目標が3つありますが、この基本目標3「誰もが安心して学べる快適な教育環境づくり」の基本方針3「家庭・地域・学校の連携・協働の推進による地域教育力向上」、ここにつきましては、前回「(1)」と「(2)」という2つの施策項目に分けておりましたが、この2つは、1つの施策項目にした方が望ましいということで、1つに統合いたしました。

2つ目の変更点は、その下の基本目標3の基本方針4にございます「教育分野におけるDX」です。ここが、前回まででお示していた施策の体系と比較して一番大きく変わるところで、前回まではこの施策項目を「GIGAスクール構想の促進」、「情報活用能

力の育成」、「校務 DX の推進」と学校現場を想定した組み立てをしておりましたが、先ほど申し上げた庁内のヒアリングを通じて、市が施策として取り組む中には、地域間における情報格差の解消、スポーツ施設などの行政手続きのオンライン化、こういった教育分野においてもっと広い範囲のものも教育 DX として取り組んでいくという状況を踏まえまして、施策項目を「GIGA スクール構想の推進」と「教育分野における DX の推進」という組み立てにいたしました。

この2点が大きく変更になったところで、16 ページにはそれぞれの基本方針及び施策項目に基づく施策の内容が掲載してあります。

次に 17 ページをお開きください。第 5 章施策の具体的方向等としまして、基本目標、基本方針、施策項目があり、グレーの四角の中に施策項目における現状と課題をまとめ、そこから右にあります目指す姿を記載しております。そして、その目指す姿になるための内容を下の方に施策の内容として①「基礎的・基本的な知識及び技能の習得と定着」から 18 ページ一番下の⑥「命を守る教育の推進」というように、まとめさせていただいております。その施策の内容につきましては、取り組む内容が真ん中、右側にはその施策によって、目的とか期待される効果を記載しております。こちらの計画の記載の仕方につきましては、17 ページ以降、同様な形で全体の計画を記載しております。

その中で、今時点でご承知いただきたいことがございまして、56 ページをお開きください。こちらの施策項目の「教育分野における DX の推進」について現在調整中という言葉が施策の内容の部分に書いてあります。こちらは、先ほど組み立てを変えたという話をした部分で、創甲斐教育推進大綱は教育委員会が中心となって策定しておりますが、同じ庁内において、同時進行で総合計画や各種行政計画の策定を進めておまして、今現在、DX に関する取り組みについても全庁的な方向性や取組みを検討しているところです。そのため、このページについては、現在調整中となっております、具体的な内容が固まってきましたらお示ししたいと思いますので、よろしく願いいたします。

以上、簡単ではありますが、骨子案作成のプロセスととりまとめのコンセプトといったものを中心に説明をさせていただきました。本日は、先ほどお示した施策の体系全体について、固めていければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

(会長)

ありがとうございました。それでは今ご説明いただいたところについて、ご質問・ご意見があれば、まず伺いたいと思います。いかがでしょうか。

この後のグループごとに分かれて検討する中で、ご質問など出てくるかもしれませんが、また、あとで時間を取っていきたいと思いますし、今日はそれぞれのテーブルに、それぞれの担当されている方がおられます。この後、テーブルを移動しながら話し合いをしていきますが、疑問点があれば、直接、市の担当者に聞いてみることもできますので、そのような手段も使いながら、施策内容に対するご自身の理解を深めていただければありがたいと思います。

## 【熟議】

それでは、今日残りの時間を使いまして、施策の基本方針から項目、内容という体系のところを、皆さんのご意見をいただきながら固めていきたいと思います。

本日の話し合いですが、基本目標単位で、15、16 ページにある図が各テーブルに1つずつ置いてあります。皆さん、どの分野に興味がおありかという部分はそれぞれ違うと思いますが、今日は、10分ごとに全てのテーブルを回っていただきますので、今座っているところから10分経ったら次のところ、また10分経ったら次のところ。30分で全体を回っていただくということになります。

まず、資料の15ページと16ページをご覧くださいませか。策定の経過の話にもありましたように、基本的には国や県の計画を受けながら、各担当課でやるべきことが記載されていますので、施策の内容が多岐にわたっています。ここに書いてある基本方針までの文言はほぼ決まっているところだと思いますが、施策項目、施策の内容を見ると、「本当にこれでいいのか」とか、細かく見ていくと施策の内容が「具体的にこんなことをやるのなら、施策の内容の用語を修正した方がいいのでは」という意見をお持ちの方もおられるかもしれません。あるいは、「本当ならこういう施策も必要なのでは」というご提案をしたいという方もおられるかもしれません。最初の10分では、文言の修正、言葉を足すべき、こんな内容を足すべきではないかというようなご提案の部分を各自まとめていただきたいと思います。

まとめるにあたり、前回の熟議でも行った付せんを書く方法をとります。留意点ですが、どの項目についての意見なのかすぐわかるように、付せんの左上に、基本方針の数字と施策項目のカッコ数字、さらに、施策内容のまる数字を記入し、どこの部分についての意見かを明らかにしていただきたいと思います。付せんを書くにあたり、意見交換したい、担当者に話を聞いてみたいということであれば、各テーブルに担当者がいらっしゃいますので、そこで意見交換をしていただく流れでお願いします。

皆さんそれぞれ、「この分野についてたくさん意見を言いたい」というところがあるかと思いますが、そこでは集中的に当たっていただいて、興味・関心があまりないところでもぜひ見てみてほしいと思います。最終的には、先ほど申し上げたように、基本目標ごとに各委員5票ずつ投票していただきますので、施策がたくさんある中で甲斐市として喫緊にやるべきであるとか、大事だとか、アンケートの結果を見るとここからだとか、後で投票できるような情報収集も、10分間にやっていただければありがたいなと思います。

進め方について、何かご質問ありますか。なければ、今日お考えになられてきたことを、まずは付せんを書いて貼っていただきたいと思います。今日準備してきたことを全部出してほしいというのがこちらからのお願いとなります。では、それぞれのテーブルに関する施策について、3時まで作業をしていただきたいと思います。私も机の間を回りますので、質問等があればいつでも声をかけてください。

【熟議における質疑応答】

<基本目標1>

- (委員)アンケートで、小学生から中学生になると“住み続けたい”という割合が少し減るが、なぜか。
- (市) 様々な理由があると考えられ、何とも言えないところ。職業体験や企業紹介など、甲斐市にあるいいところを知ってもらい取り組みも大事だと思う。
- (委員)ICTを活用したり、都内に通勤できる環境を整えば、甲斐市に住み続けたいという子どもも増えるかも。
- (委員)今の子どもたちは結構リアルに物ごとを考えるので、色々考えて好きだけど外に出ざるを得ないといった側面もあるのかも。
- (委員)“自立した学習者の育成”とはどういったことをするのか。
- (市) 今までの一斉授業から、タブレットなどを使って自分で考えて学ぶような学習にすること。子ども主体の授業を目指し学習方法も自分たちで選択する。
- (委員)勉強は嫌いではないが学校に行けないという子どももいるので、オンラインの充実を進めるべきだと思う。顔は出すか出さないか選べるし、クラスと繋がっているという意識も持てる。
- (市) 環境整備を進めている。
- (委員)施策の内容の①～の順番は重要度が高い順に並んでいるということでもいいか。
- (市) 概ねそうなっている。
- (委員)そうであれば、「グローバルに活躍する人材の育成」のところは②が先の方がいいのでは。才能を伸ばすことが大切だと思う。
- (委員)双葉中学校で行っている「こすもす」の取組は他の中学校でもやっているのか。
- (市) 他の中学校でもだいたい実施している。小学校でも他の部屋を用意してできる範囲で実施している。オンラインなども活用し、柔軟に対応するようにしている。
- (委員)不登校にせよ発達障害にせよ、いかに居場所を作ってあげることが大事だと思う。
- (市) どうすれば教室が子どもにとって安心できる場になるかという視点で考えている。
- (委員)今は先生も子どもも忙しいので、先生と児童生徒が話す時間もあまりないし、少し心のふれあいが少ないように感じる。
- (委員)いじめに関しては、本人も悩んでいるが親も悩んでいる。自分の子がいじめる側にもいじめられる側にもなりうるので、その子どもに関係する保護者や周りの理解を深めるような取り組みがあればいいと思う。

<基本目標2>

(委員) 青少年活発化について、具体的な想定はあるのか。異なった年齢はいいが、他の地域、外国の子どもも含めてということになるが具体的なものは。

(市) ジュニアリーダーやシニアリーダーの育成等が中心になってくる。

(委員) 国際関係のいろいろな団体があるので、多文化を知るためにその子どもたちが話し合いができるような内容が入ればいいと思う。それをどこかに集めて、何か「こういうものがあるよ」というものがあればいい。私も昔、東南アジアを回ったがそれが今につながっている。文化を知る活動を子どもたちにしてほしい。

(委員) 図書館事業で資料収集・貸出等の内容が多いが、学習室の利用については入っていない。学習スペースの充実等も必要かもしれないと思った。

また、図書館は「静かな場所」という感覚だが、一面をサロンのような形にし、子どもやお母さんがおしゃべりする場にするといったことをしてはどうか。

(委員) アンケートでスポーツイベントを知らないという人が約半数いたことが驚いた。スポーツ協会の地区の役員をしていて様々なスポーツをやっており、広報に載せているにもかかわらずこの結果だった。広報も活字だけなので見てもらえない可能性がある。工夫した載せ方が必要ではないか。せっかく色々しているのに残念。

(委員) スポーツ施設について、新しく作る施設などがあるのか。

(市) 新しく作る予定はなく、既存施設をより使いやすくするための整備や修繕というだけで考えている。

(委員) 体育館は各地区ごとにバランスよくあるのか。

(市) 各地区にあるもののほか、学校の体育館も使ってもらっている。

(委員) Kai・遊・パークの修繕の目途はたっているのか。

(市) 修繕のやり方を考えている。他の部分の修繕の必要もあるため、どうするか検討しているところ。もう少し全体的にきれいに整備し、来年から修繕していく予定。

(委員) スポーツを「する、みる、ささえる」の「ささえる」は環境整備的なものか。

(市) 応援する意味での「支える」という考え方。

(委員) 図書館が好きだが、なかなか行けない。蔵書も借りられているものが多い。返却に行かなければとも思うが、デジタルで送れるといい。スマホを見ているお母さんたちには本を読んで、と言いたい。図書館で借りても読み切れないから買ってしまおう。スマホで貸し出し期間延長ができればいい。

(市) パスワードが必要だが、次に待っている人がいなければ1回だけ延長ができる。

(委員) 学習室の充実があればいい。

(市) 1階に申し込まなくてもいいフリースペースがある。

2階には予約で使えるものがある。

(委員) 視聴覚ルームで映画を見たこともあったが今もやっているのか。

小中学校にも、もう少しできれば発信を。

(市) 今もやっている。広報などでも出しているが、発信が届いていないのかもしれない。

(委員) 篠原公園にはそういう特徴的なものはないのか。

(市) 遊ぶスペース等でも使えるようにしたい。

(委員) 小中学生の体力は昔よりは落ちている？

児童館に行く子どもが増え、そういう子は帰宅が車になるため、運動時間が少なくなっている。

(市) コロナにより落ちている側面もある。全国的な傾向でもある。

(委員) 教員の時間外勤務の懸念があるため部活動の時間も減っている。運動機会は減っていくということは想定できる。体力は大事。勉強するうえでも体力がないとできない。気持ちとつながる部分がある。しかし、働き方改革との関連もある。

(市) 運動面は必要だが、教員のことを考えると難しい。

(委員) 「子どもや高齢者の体力向上支援」とあるが、一般世代もあるのでは。山梨は歩かない人が多いから。全部の人を表す単語でもよいのでは？むしろ働き盛りの人のほうが動かないのではないか。休みは休む。移動は車といったものになるので。

(委員) ドラゴンパークは仕事終わりの人が歩いていたりする。何時まで照明がついているのか。

(市) 夜10時まで。

(委員) ちょっと行ってちょっと運動ができる場所があれば違うと思う。Kai・遊・パークにも温泉があればいい。それかKai・遊・パークを使った人は温泉が半額になる等。いま行っている修繕も早くしてほしい。

<基本目標3>

(委員) 教職員の「資質向上」という表現は厳しいと感じるが、もう少しやわらかい言い方はないか。

(市) 学校現場ではよく出てくるフレーズで、教員の中では一般的な言い方なので言い方が厳しいという感覚はない。

(委員) 承知した。もう少しよい言い方があれば、ご検討を。

(委員) ICT教育については、wi-fi環境を市で整備してくれればどこでもできるので、推進してほしい。

(委員) 学年で違う色の体操着を使いまわすことができれば、家計にも優しくSDGsで

よいと思う。

(委員) 特色のある学校づくりの支援となると、学校かと思う。

特別支援教育の充実まではあるが、例えば、ある子に登校拒否があり、放課後等デイサービス事業があるけれど、そのような子に対する相談は知識がある人が受けてやっている。相談支援の人を育てるようなものがあるとよい。

(委員) トータルのコーディネーターがあるか。小学校・中学校とそれぞれあるが、未就学から中学校まで、その子のことがわかるトータルコーディネーターがいればありがたいと思っている。

(会長)

ありがとうございました。具体的な施策の中身についての提案が多くあったような気がします。では、本日の議論やアンケート結果、ご自身の興味のある分野などを総合的に勘案して、それぞれのテーブルで5票ずつ投票してもらいたいと思います。1人15枚赤いシールが配布されていますので、気に入ったところに貼っていき、投票してください。どのテーブルから行っていただいても構いませんので、たくさんの施策項目の中で、重点的に、特にここは力を入れてやってほしいという施策を、ご自分の意見で貼ってもらいたいです。同じ施策にたくさん貼るのではなく、1つの施策項目につき、シールは1枚まででお願いします。

**【投票時間】**

ありがとうございました。今日投票が多かったものがそのまま重点施策になるかどうかは分かりませんが、皆さんの意見を示していただいたので、これを基に事務局で検討していただいて、おそらく次回、具体的な計画として、どこがより重点的になっているかなども含めて提示がされるかなと思います。全く同数ばかりだったらどうしようかと思いましたが、それなりにばらつきがあるので、わかりやすいのではないかと思います。次回、この結果を踏まえたうえで、皆さんに具体的な計画案を見ていただきたいと思います。

また、次回には評価指標なども出てくると思いますが、すべての項目に評価指標をつけるのではなく、どの施策に評価指標を設けるかという点においても、参考のデータとして、今回の投票結果を使わせていただきたいと思います。今日はかなり時間が押してしまいましたけれども、色々意見交換しながらご参加いただいてありがとうございました。

熟議から投票まで行っていただきましたけれども、施策の体系や施策項目の大きな変

更はなかったと理解していますが、よろしいでしょうか。その中で、重点を置くべきものがここで示されたということで、基本的には今日ご提案された施策の体系を維持しつつ、軽重をつけるような作業をしながら、具体的な計画策定を進めていくということについてはご了解をいただくということでよろしいでしょうか。はい。ありがとうございました。

最後に（３）その他ですが、委員の皆様から何かございますか。よろしいですか。事務局からは何かございますか。

（事務局）

長時間にわたりありがとうございました。

本日、骨子案についてご意見をいただき、投票もしていただき、優先順位の高いものや重点的に取り組んだ方がよいものについてご意見をいただきましたので、庁内プロジェクトチーム会議等で精査させていただき、内容を修正したうえで次回、４回目の会議に計画案として皆様に示させていただきたいと思えます。

あと、一つお知らせをさせていただきます。現在、皆様には計画の内容の検討をしていただいています、その成果物については、第２次の時のように冊子やリーフレット、概要版のような形にまとめて市のウェブサイトの内容を掲載して、市民の皆様に見えるだけ周知を図っていく予定です。

その中で、表紙やイラストのデザインについては、現在、竜王新町にあるサンテクノカレッジという専門学校の生徒に公募をしております、甲斐市の教育理念「甲斐市で育ち、甲斐市を育てる人づくり」、第３次の特色の１つでもある「教育 DX の推進」のイメージなどをベースに、甲斐市にある学校の生徒たちの若い発想で表紙のデザインをお願いできませんかと学校をお願いしてみたところ、夏休みの課題として取組ませてもらいますというお返事をいただきました。

サンテクノカレッジとは今年３月に連携協定を締結いたしまして、その中で色々協力しながら事業に取り組んでいきたいと思いますという一環で、今回、５年に１回の大きなプロジェクトである新たな創甲斐教育大綱を策定するという中で、デザインを作ってもらっているところです。その選考の過程で、サンテクノカレッジの学内選考の後に、アンケートを答えてもらった小中学生に選考してもらい、その後、策定会議のメンバーの皆様にも今検討している計画のイメージに合うものどれかなということを見ていただいて、最終的には市長・教育長に決めていただく流れを想定しておりますので、委員の皆さんにその選考にご参加いただきたいというお願いとお知らせになります。時期は、次回ではなく、第５回の１１月中旬ごろを想定しておりますので、ご承知おきを願います。その他の説明は以上となります。

（会長）

ありがとうございました。

本日は、事前の説明の不足、熟議の回し方の不手際で、当初予定より３０分程度オー

バーしてしまい申し訳ありませんでした。皆さん、最初はちょっと戸惑いながらも徐々に色々のご意見を出していただけて、熱心にご議論いただけたと思います。前回に引き続き、感謝申し上げます。これで議事を終了します。事務局にお返しします。

### 3. 閉会

(事務局)

日永会長ありがとうございました。

また委員の皆様方、本日は長時間にわたりありがとうございました。

次回の策定会議の開催につきましては、10月中旬を予定しております。決まり次第なるべく早めにお知らせをさせていただきます。よろしく願いいたします。

以上をもちまして、第3回創甲斐教育推進大綱策定会議を閉会させていただきます。最後にあいさつを交わして閉会したいと思います。ご起立ください。

お疲れ様でした。ありがとうございました。

(相互に礼)